

## 令和7年度 第11回 FD・SD 研修会報告

日 時：令和8年1月20日（火）14:30～

場 所：H207

出席者：24名

発表者：ビジネス実務学科 若月 博延 教授

テーマ：「金城紀要第49号研究奨励賞 受賞記念講演」

本FDは「金城紀要第49号研究奨励賞 受賞記念講演」として、「白山市文化遺産の観光活用の可能性—加賀一向一揆を例に—」をテーマに、観光概念の再検討と地域文化遺産の活用可能性について論じたものである。冒頭では講演者自身の研究遍歴が紹介し、理系志向から出発しながらも、最終的には観光学・社会学的アプローチに至った経緯が語られた。特に、参与観察や地域イベント研究を通じて得られた実践的知見が、その後の議論の基盤となっている。

後半では、白山市が有する多様な観光資源の現状と課題を整理した。海から山までを有する豊かな自然や文化資源を持ちながらも、「何でもあるが突出した分かりやすさに欠ける」という問題点が示され、その中でも北前船寄港地や加賀一向一揆終焉の地・鳥越城といった歴史資源に焦点が当てられた。これらのイベントに金城大学短期大学の学生が絡んでおり、そのことの重要さと、しかし彼らが十分のその能力を発揮できていない点を指摘した。鳥越城、一向一揆の話は教科書知識と現地体験を結び付けられる教育的価値の高い文化遺産であり、ダークツーリズムや教育旅行としての活用可能性が高いこと、さらに地域イベントの継続には若者との関係構築が不可欠であることが強調した。白山市文化遺産の新たな観光的価値を再認識させるとともに、地域と若者の関係性を再設計する重要性を示唆する内容であった。

